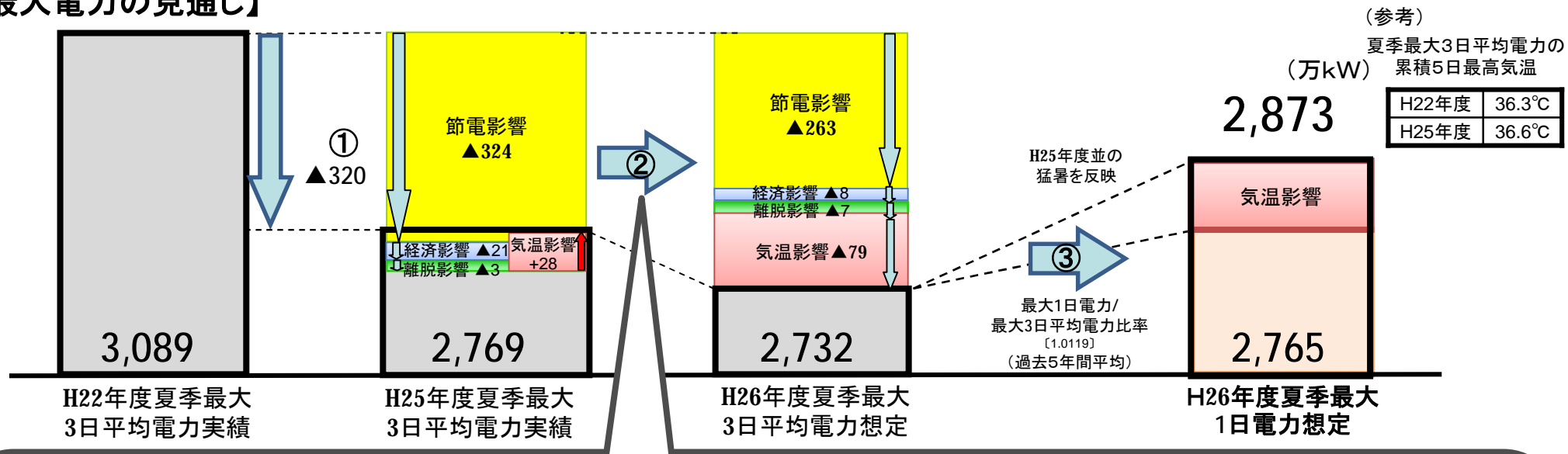


今夏の需給見通しについて

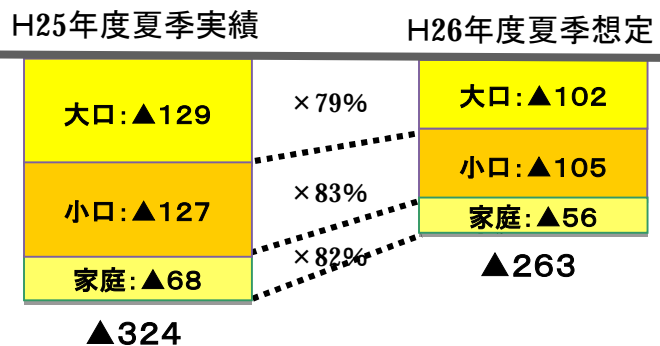
平成26年5月29日
関西電力株式会社

今夏の最大電力想定の方考え方について

【最大電力の見通し】



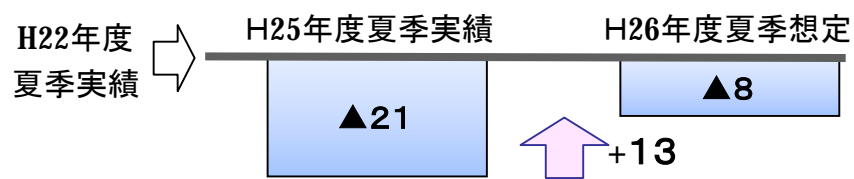
【②-1:節電影響の見通し】



【定着節電アンケート結果(H26.2実施)】

	定着率	サンプル数
大口	79%	411件
小口	83%	538件
家庭	82%	1,071件

【②-2:経済影響の見通し】



- ①: H25年度夏季の節電影響、経済影響、気温影響、離脱影響をH22年度とH25年度の夏季実績を比較して算出しています。
- ②-1: 節電影響は、至近のアンケート結果に基づいた大口、小口、家庭別の節電定着率により、▲263万kWと想定しています。
- ②-2: 今夏の経済影響は、今後の景気拡大を織込み、リーマンショックから大きく景気が回復したH22年度夏季と比較すると依然としてマイナスであるものの、H25年度夏季と比べ+13万kWとなる、▲8万kWと想定しています。
- ③: H25年度並の猛暑を反映した今夏の最大1日電力は、最大1日電力/最大3日平均電力比率の過去5年間平均を用いて、2,873万kWになるものと想定しています。

今夏の需給見通し(8月:原子力の再起動がない場合)

[万kW]

	①昨夏想定	②今夏想定	差分 (②-①)	備考
供給力-需要 (予備率)	87 (3.0%)	87 (3.0%)		(凡例) ☆ 計上の考え方 ○ 昨夏との差分
需要	2,845	2,873	+28	○H25年度並猛暑を想定(+28)
供給力(合計)	2,932	2,960	+29	
原子力	236	0	▲236	☆稼働していない原子力は、再起動がない場合として計上しない ○大飯3・4号機の停止による減(▲236)
水力	205	209	+4	☆天候によらず安定的な供給力として下位5日の平均から算定 ○川原樋川他の台風被害からの復旧等による増等
火力	1,478	1,633	+155	☆設備更新工事の工程前倒しの反映と試運転の計上 ○姫路第二1~5号機(+207) ※4・5号機試運転を含む ○姫路第二既設4号機の廃止(▲45) ☆夏季補修の回避と定期検査の繰り延べ ※全台運転 ☆火力の増出力、緊急設置電源、吸気冷却装置の活用 ○実績評価による減(▲7)等
揚水	420	414	▲7	☆想定需要とベース供給力から算定
新エネ	0.3	0.3	0	
他社・融通	591	704	+113	☆太陽光は高需要発生日の下位5日の平均から算定 ○固定買取制度による至近の普及状況等による増(+33)
他社	525	537	+12	☆必要予備力を確保できるよう調達を計画 ○IPPの契約満了等に伴う減(▲21) ○応援融通の増(+89) 応援融通受電量 計149 (中部電力91、北陸電力11、中国電力9、東京電力38) ○新電力からの調達の増等(+12)
水力・揚水	68	67	▲1	
火力	436	416	▲21	
新エネ	21	54	+33	
融通等	66	167	+101	

※四捨五入のため合計が合わないことがあります。

○今夏は、想定需要2,873万kW(1日最大電力・H25年度並の猛暑)に対して、姫路第二発電所設備更新工事の前倒しや火力の夏季補修の回避、震災特例の適用による火力の法定点検の繰り延べ等を行っても、自社では大きく不足する厳しい状況であり、中西各社からの最大限の応援融通受電に加え、東京電力からも受電することにより、辛うじて予備率3%を確保できる見通しです。

今夏の需給見通し(原子力の再起動がない場合)

(万kW)

	7月	8月
需要	2,873	2,873
供給力	2,960	2,960
予備力	87	87
予備率	3.0%	3.0%

供給力内訳	原子力	0	0
	水力	228	209
	火力	1,599	1,633
	揚水	410	414
	新エネ	0.3	0.3
	他社・融通	722	704

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある

- 今夏、当社管内では電力を供給する上で最低限必要な予備率3%を辛うじて確保できる見通しですが、需要の想定において、定着した節電分として263万kW（平成22年度最大電力比▲8.5%）を見込んでいることから、この夏において、着実な節電・省エネにご協力を賜りますよう、お願いいたします。
- さらに、発電所のトラブルなど、不測の事態により、電力需給のひっ迫が予想される場合には、お客さまの健康に影響を与えない範囲、ライフライン機能等の維持や生産活動に支障のない範囲で、可能な限りの節電にご協力いただきますよう、お願いいたします。

<参考：政府の節電要請内容および期間・時間>

要 請 内 容：国民生活や経済活動等への影響を極力回避した無理のない形で、確実に行われるよう、「数値目標を伴わない節電」を要請する。

※需給見通しには、平成22年度最大電力比で▲8.5%(関西電力管内)の定着節電分の需要減少を見込んでおり、これは、節電を行うに当たっての目安となる。

期 間・時 間：平成26年7月1日（火）～平成26年9月30日（火）までの平日9時～20時
（ただし、8月13日（水）～15日（金）までを除く）

<お客さまに節電にご協力いただくための主な取組み>

- ホームページにて、電力需給のお知らせ
- ホームページや検針票裏面等にて、節電・省エネのPR
- ご訪問や電気ご使用量のお知らせサービスの活用による節電・省エネのお願い
- 計画調整契約によるピーク時間帯の負荷調整の取組み（法人のお客さま）

<需給逼迫時における需要抑制に向けた主な取組み>

- 瞬時調整特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 通告ネガワット特約による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- BEMSアグリゲーターとの協業による需要抑制の取組み（法人のお客さま）
- 需給逼迫のお知らせメールによる電力需給のお知らせ

今夏の電力需給情報等のホームページへの掲載について

電力需給のお知らせ (6/30[月]項目切替)	【掲載時刻】 毎日9:30頃、18:30頃 【掲載内容】 毎日の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)[ピーク時、時間帯別]、予想最大電力、ピーク時供給力、需要予想[時間帯別]、需要実績[3分値、時間帯別]、供給力の内訳など(H25夏と同様)
週間電力需給のお知らせ (6/30[月]掲載開始)	【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌週(平日月～金)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H25夏と同様)
翌々週の需給見通し (6/30[月]掲載開始)	【掲載時刻】 毎週金曜日18:30頃(日々の更新なし) 【掲載内容】 翌々週(平日月～金の1点情報)※の需給予想 【掲載項目】 使用率(顔マークなし)、予想最大電力、ピーク時供給力、供給力の内訳など(H25夏と同様)

※土日祝・8月13日(水)～8月15日(金)は対象日から除く

※需給逼迫のお知らせメール

電気の使用率が97%を超過する見込みとなった際、電子メールにてその時間帯をお知らせする「需給逼迫のお知らせメール」の新規登録の受付を、5月16日(金)よりホームページにて開始いたします。(既にご登録いただいている場合は、改めてのご登録は不要です。)

■電力需給のお知らせ



■週間電力需給のお知らせ

週間電力需給のお知らせ

和歌山県XX月XX日 18時30分 更新

	XX(月)	XX(火)	XX(水)	XX(木)	XX(金)
使用率 (%)	89	89	89	82	81
予想最大電力 (EkW)	2,050	2,050	2,050	2,070	2,040
ピーク時供給力 (EkW)	2,547	2,547	2,541	2,522	2,512
天気	晴	晴	晴	晴	晴
気温(℃)	21/30	21/30	22/29	21/28	22/29

電力需給のお知らせ (電力の需給状況グラフ)

■翌々週の需給見通し

< X/XX (月)～X/XX (金)の需給見通し >

	X/XX (月)～ X/XX (金)の需給見通し
使用率 (%)	90
予想最大電力 (EkW)	2,690
ピーク時供給力 (EkW)	2,925
気温(℃)	28

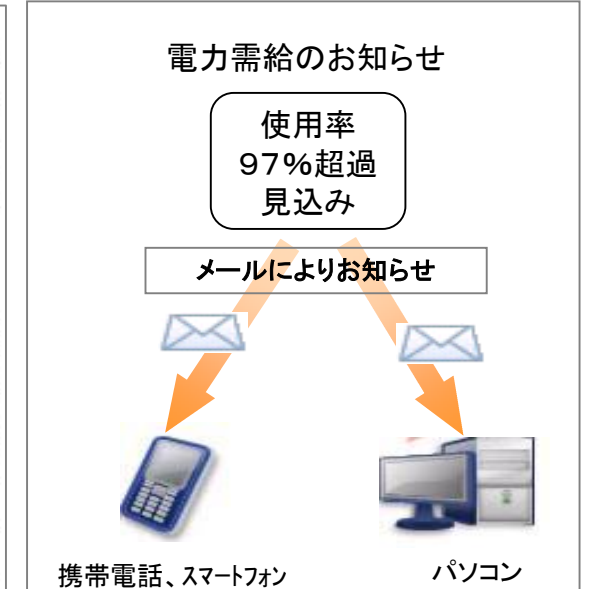
※気温は気象庁から提供される「期間中の日最高気温の過去値」を使用しています。

【供給力の内訳】

種別	ピーク時供給力 [万kW]
原子力	336
火力	1,438
水力	271
地熱・太陽光	379
他社受電	564
うち、融通	送電側 : 35 受電側 : 0
(合計)	2,925

※種別内訳により数値が合わない場合があります。

■需給逼迫のお知らせメール



※図はすべてイメージです

「BEMSアグリゲーターとの協業によるピーク抑制」の概要

参考

内 容	当社の負荷調整要請に基づき、ビル等の空調・照明設備等の負荷調整・制御を行うエネルギー管理システム(BEMS)を導入されたお客さまに対し、負荷調整を働きかけ、ピーク抑制を実施いただけるアグリゲーターを募集
アグリゲーターの募集方法および時期	募集の周知方法 : 当社ホームページを通じて行う 時 期 : 平成26年5月16日～平成26年5月30日
実施期間	平成26年7月1日～平成26年9月30日
アグリゲーターへの主な委託内容	①上記実施期間までに、負荷調整にご協力いただけるお客さまの選定と負荷調整可能電力の報告 ②負荷調整時間帯において、BEMSを活用して①で選定したお客さまの負荷調整を実施 ③負荷調整の実施結果の報告
負荷調整の依頼タイミング	原則、需給ひっ迫が予想される日の前日の午後
負荷調整時間帯	平日の9時～20時の間で、当社が要請する時間帯
負荷調整の対象となるお客さま	当社管内の高圧受電(契約電力2,000kW未満)のお客さま